

第154回 飛騨市新型コロナウイルス対策本部会議

日 時:令和4年5月11日(水曜日)8時30分～
9時25分

場 所:本庁舎2階 会議室

1.あいさつ

- ・市内の感染状況は家族、家庭内感染が主。たくさんひろがっている状況では必ずしもない。
- ・県全体では昨日が824人、感染者の確認は前週比較であり、前週は連休中なのであまり比較にならないが、水準としては9日(月)、10日(火)は4月13日の週と同水準である。
- ・4月13日このあたりは年度末、年度初めの歓送迎会等による感染の波の影響が出ていた時期。こうした事から今後どう推移するか、どの程度の水準なのか予想がつく。
- ・傾向として毎週火曜日の感染が多く、土日が少なくなるパターン。この後、どう推移するか、ここがポイント。
- ・今回の特徴は人流抑制をかけていないこと。街の人出もコロナ禍前の水準になっている。
- ・移動、行動の制約がない中で迎えた連休という事で今後の感染状況がどうなるのか壮大な実証実験と言える。社会経済活動を戻した場合、どうなるのかという結果が今週から来週にかけて現れる。
- ・オミクロン株から BA2へ置き換わっているという報道がされているが、感染力が強い株に置き換わって、行動制約をかけないと、どうなるか。
- ・潜伏期間はだいたい3日なので5月8日に感染した場合、発症するのが今日(11日)であり、今日、体調不良を感じて医療機関を受診するとすると陽性者として数字で表れるのが明日、明後日なので、連休最終日の結果が出るのは今週末となる。
- ・5月5日に感染した場合は既に発症して昨日あたりに医療機関を受診していると思われる。
- ・連休前半における結果は昨日までに出た、そこから家族に感染し、どの程度感染が広がるか、このあたりを見る必要がある。
- ・家庭内(家族)感染のうちワクチンを3回接種している場合は、これまでの傾向として比較的感染が抑えられる。
- ・こうしたことから発症は限られてくるのではないかと。例えばワクチンを2回しか接種していないなど。
- ・今週から来週までを見ると今の予測では爆発的な感染拡大にはならないのではないかと希望的には思っている。
- ・連休前、県の会議で打ち出された今後感染者が増えた場合の規制強化の基準が週平均700人。現状はそこまで至っていない。
- ・700人に到達した場合でも強い行動制限をかけるわけではなく、検査を徹底する程度。
- ・今後、ある程度感染者が増えても社会経済活動が動いていくのが今後の流れ。
- ・ここは非常に重要で、この程度の感染状況であれば、行事の行動制限はなくなり、イベント等も行っていくことになっていく事が確定していくと思われる。
- ・来週の本部会議でだいたいの見通しがたつと思われる。今後半年程度、行事やイベントをどうしていくのか見えると思われる。
- ・人流抑制、行動制限しない大型連休を終えた今、比較的感染状況が抑えられていることは3回目ワクチン接種が間に合ったといえる。

- ・ワクチン接種はBA2に対して効果が高いことは明らか。
- ・新たな変異株が出たとしても、3回目接種が進めば今後予定している会議やイベント行事等は原則予定通り進める。
- ・飲食が伴う場合は、長時間は避け、換気する。このあたりを踏まえ行事等の判断をしていく。
- ・飛沫をたくさん長時間浴びるようなケースを避ける、控えていただきたい。
- ・最近の感染事例を見ると、どこで感染したが不明なケースが多い。マスクを外し換気の悪いケースをどうやって避けるか、そこだけ抑えて様々な行事を進めていく。
- ・古川祭関連の陽性者はゼロ。屋台引き揃えでの感染を懸念する声があったがゼロ。
- ・古川祭と今回のGWは壮大な実証実験であり、結果を見るとだいたい、どういう傾向、どういった場合に感染するか分ってきた。
- ・色々な声、意見が出て一つ一つに右往左往することなく、全体像を見てこれからの事業を進めていく。

2. 各種施策に対する各部からの実績報告及び連絡事項

【総務部】

- ・5/8 市職員陽性情報発表8例目

【企画部】

- ・総合相談窓口の対応状況について(3件)
- ・市ホームページ新型コロナ「困りごと」お聞かせください Q&A (0件)
- ・抗原定性検査キット、迅速PCR検査試薬の保有状況について
- ・地域活動団体用検査キット配布について(累計6件)
- ・直近1週間の陽性者数 13名
- ・「飛騨市新型コロナまん延警報」特別警報発令中(3/26~)
- ・感染対策指導員 6月目途に次回訪問を開始予定

【市民福祉部】

- ・無症状者に対するPCR検査助成金の申請状況について(R4累計135件)
- ・新型コロナまちなか簡易検査センターの実績について(累計 古川894件、神岡390件、河合33件、宮川27件)
- ・薬局における検査キット購入助成(716人)
- ・予想以上の販売実績につき6月補正に追加要求
- ・コロナ傷病手当金(1件)
- ・新型コロナ宿泊療養施設の状況について(現在37名)
- ・新型コロナまちなか簡易検査センター基礎増強等工事(古川 5/16~、神岡 5/23~)
- ・上記工事期間中の代替として仮設対応(古川:図書館前通路、神岡:保健センター駐車場)
- ・検査キット購入助成制度の定着及び医療保険適用者とのバランスを考慮し、PCR検査(迅速検査)の無償化は5月31日で終了。
- ・生活支援資金貸付状況
- ・新型コロナウイルスワクチンに係るコールセンターの対応状況について(週計32件、予約7件)

- ・ワクチン入荷・接種状況について
- ・高齢者交通費支援(タクシー:累計1,563件、バス:累計393件)
- ・予約案内・確定ハガキ発送状況について
- ・4回目接種の進め方の基本方針を決定し、医師会長に協力要請(5/10)
- ・金・土を中心にファイザー製ワクチンの接種枠を設定すると同時に、有効期限(5/20)間近のモデルナ製ワクチンの廃棄量抑制のため、医療機関の理解・協力の下、モデルナ製ワクチンの接種枠も設定
- ・4回目接種の基本方針、進め方について、医師会、医療機関へ周知、協力要請
- ・施設入所者の4回目接種に向け、各施設へ入所者名簿提供要請等
- ・4回目接種に関する意向調査の準備

※ワクチン接種に関する情報は、市ホームページ「新型コロナウイルス特設サイト-新型コロナウイルスワクチン接種推進室」をご覧ください

【農林部】

- ・子牛価格 5月市場全国平均を大きく上回った。県内枝肉価格が堅調なおかげで影響は少ない。
- ・5月9日飛騨ミート枝肉価格は、GWの活発な消費行動により好調に推移。今後も続く模様。
- ・全畜種に影響を与えている粗飼料価格高騰対策

【商工観光部】

- ・事業者向け検査キット購入補助制度(累計5件)
- ・団体懇親会補助制度(累計26件)
- ・飛騨漬けキャンペーン(4/23~)高山、奥飛騨温泉の主要宿泊施設に協力を依頼(25社)
- ・まちなか観光案内所 飛騨漬けガチャ利用者 140名(4/23~5/8)
- ・濃飛バス 飛騨漬けツアー造成(ぎふ旅コイン取扱い店舗誘導)
- ・宿泊施設検査体制整備(コロナ検査体制宿導入) 認可1件、調整中3件
- ・あんしんバス旅応援事業 申請13件(4/17~5/8)
- ・5/9 観光協会職員1名陽性確認(自宅療養中)
- ・連休中の市内飲食店の状況
- ・昼営業の飲食店は、観光客の入込が好調だったことにより、コロナ前の7割くらいまで戻ってきており、連休中日などはコロナ前と同じくらいの混雑具合。連休最終日の8日は、その反動でかなり静か。
- ・居酒屋等の夜飲食については、連休前と比べると客足が戻ってきたが、少人数で早めに帰るお客が多かった。スナックはいつもより多少入ったかな、という程度。
- ・連休中の古川市街地入込客 13,576人(昨年6,192人)
- ・まつり会館入館者、物販 昨年比1.7倍
- (宿泊施設の状況)
- ・GWは観光客の動きもあり全体的に好調(市役所駐車場もほぼ満車)
- ・サッカー合宿等もあり、大口の団体客受入もある(古川・流葉)
- ・ビジネス需要は安定している(神岡)
- (飲食・土産物の状況)
- ・GWは好調。予想以上の入込があった。ぎふ旅コイン利用者も多い。

(お客様の傾向)

- ・コロナ禍でアウトドア需要は好調
- ・池ヶ原湿原 2,794人(4/29~5/8)
- ・キャンプ場は全体的に好調

(次の対策について)

- ・低所得世帯、高齢者世帯を対象とするプレミアム商品券の発行を準備中。
- ・まるごと大売出し(さるぼぼコイン活用)を準備中
- ・飛騨漬けキャンペーン 事業の周知特設サイトの活用・メディア招聘
- ・イベントカレンダーのブラッシュアップ 市内イベント情報の入手・発信
- ・宿泊施設検査体制整備(コロナ検査体制宿導入) 未申請事業者の宿内オペレーションのサポート
- ・コンベンション誘致、バス補助の活用促進 旅行エージェンツ営業
- ・コロナ対策強化 宿泊受入 ワクチン3回 or 陰性証明確認の徹底
- ・グラウンド安全対策 雷レーダーの導入検討(黒内・流葉)

【基盤整備部】

- ・5/8 都市整備課職員1名陽性確認
- ・道の駅アルプ飛騨古川状況(コロナ禍前と同程度)

【教育委員会】

- ・各学校へ発出文書 5/6:「新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえた学校運営について」
- ・学校の出欠状況 5/9:60名、5/10:45名
- ・県教育委員会より配布された「第6波における部活動や習い事での感染拡大事例」をもとに部活動に体調不良者が参加しない事や参加させない事などについて再度徹底。

【病院事務局】

- ・無症状 PCR 検査実施件数(4月累計:52名)

【神岡振興事務所】

- ・地域活動団体等に対する抗原定性検査キットの配布について神岡町行政区長会にて説明
- ・5/8 ピーク、カミオカラボ、ガッタンゴー

3. 今後の方針について

- ・4回目接種について医療、介護施設従事者の優先接種を国、県に要請したい。
- ・行事開催時には3回目接種確認と抗原検査。セルフ検査で良いので抗原定性検査キット活用、配布について検討すること。(今後特に、夏を迎え小学生、中高生の大会等に備える)
- ・ひだ宇宙科学館カミオカラボの入場制限解除について検討すること。
- ・昨日、大阪大学大学院 忽那堅志教授の意見を拝聴した。過剰な対策が散見されるとのこと。
- ・例えば、トイレを流すときに便座を閉める。エビデンスがない。むしろ便座開け閉めにリスクが有る。
- ・会議時(マスク着用)におけるマイクの消毒やホテル等でのバイキングにおける使い捨て手袋など。
- ・専門家の方々の意見を参考に緩める対策(過剰な対策)と継続する対策を市民保健課にて整理

すること。

- ・例えば会議やイベントにおいて、アクリル板を設置する代わりにマスクを外すよりも、マスクを着用したまま発言する方が明らかに感染対策となる。スタンダードを決めたい。

4. その他

次回会議開催予定:対策本部会議 令和4年5月17日(火曜日)8時30分～